



赤ちゃんの子クラブプロジェクト

これによって、学力の向上が数値で表れました。基礎学力と自尊心を育てることができています。

2 「命の教育」を推進する
〈命の教育担当が推進〉

3年生の全クラス・全班に市内在住の赤ちゃんが来て、命の大切さを学ぶ『赤ちゃんのチカラプロジェクト』を行っています。その他メンタルヘルスリテラシー等を全学年で実施し、自他の生命の大切さを学ぶ学習を行っています。

3 人権尊重を基盤にいじめや体罰のない学校をつくる
〈人権教育担当及びいじめ防止委員会
いじめ・体罰調査の他に、毎学期『ふ

5 特別支援教育の充実に努めインクルーシブ教育を推進する
〈特別支援教育コーディネーター〉

文部科学省のインクルーシブ教育推進校の指定を受け、特別支援学級と通常学級との交流学习を推進しています。授業、給食、部活動、学校行事等で幅広く共同学習を行っています。

「生徒が第一の学校経営」

生徒には、3年間で少なくとも1回は

れあいアンケート』を実施して、生徒の課題の把握に努めています。また、休み時間には教員が職員室に戻らず廊下で生徒と触れあう『廊下職員室』を実施し、生徒に寄り添う指導を展開しています。

4 国際理解教育を推進する
〈国際理解教育担当が推進〉

1年生では日本ユニセフ協会、2年生では留学生、3年生では地元在住の外国籍の方々に来ていただき、国際理解教育を推進しています。もちろん修学旅行では、外国人に英語でインタビューする国際交流も行っています。また、道徳授業地区公開講座では、アジア教育友好協会の方に来ていただき、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する姿勢を身につけさせています。

「1家庭1役」

運動会や音楽祭などの大きな行事以外には、なかなか保護者が学校へ足を運ばないという現実がありました。そこで、PTA役員・委員以外の全保護者が、少なくとも1年に1回は学校に来るという「1家庭1役」を取り入れられました。授業参観や草むしり、道徳授業地区公開講座、セーフティ教室等のどれかに年度当初に申し込んでもらい、参加してもらっています。勿論何回来てかまいません。役員や委員の方は自由に参加しています。これによって参加者が格段に増え、学校の教育活動への理解が進んでいます。

表彰されましょう。」とっています。朝礼や始業式、終業式等で全校生徒の前で表彰を受けることは、生徒にとって名譽なことです。やり遂げる力や自尊心を育てることにつながります。部活動、各種コンクール、検定試験等々、あらゆる活動の成果を讃えた表彰を行っています。嬉しいことに表彰が多すぎて、時間内で終わらせることに毎回苦労しています。

朝の挨拶は、ふだん生徒と触れあう機会の少ない校長にとって、とても大切な時間です。生徒のようすを把握するとともに、元氣な挨拶で学校の1日を始めるよう、「挨拶プラス一声」を心がけています。

学校教育の現場から



小島 秀治 HIDEHARU KOJIMA



清瀬市立清瀬中学校 校長
社会科

1955年 東京都生まれ
1980年 明治大学政治経済学部経済学科卒業
1997年～2000年 香港日本人学校中学部派遣
2013年～現職
2014年11月 明治大学教育会東京都支部長

私の勤務する東京都清瀬市は、埼玉県の所沢市と新座市に隣接する、都県境にあります。昨年新宿区から転任してきましたので、その地理的環境の違いは大変に大きいものがありました。清瀬市には、世界の結核治療をリードする東京病院や、気象衛星ひまわりを管理する気象衛星センターがあることでも有名です。豊かな自然と素直で伸び伸びと育つ子どもたちが自慢の市です。

「未来へ世界へ」

小さい頃から世界を駆け回る商社マンを夢見ていました。それが、大学2年の春に大きく変わりました。人生を変える出会いがあったからです。21世紀は教育の世紀。今こそ21世紀の人材を育てる時代。教育ほど重要なものは無い！」

教員になっても、世界への思いが原点となり海外日本人学校への赴任や、夏季休業中のカナダ短期留学への引率などを経験してきました。香港日本人学校での教え子に、漫才コンビ・オリエンタルジョーの藤森慎吾君がいます。彼が3年生の時に赴任し、担任する学級は違いましたが、1年間授業を受け持ちました。彼の学年は大変横のつながりが強く、私もその輪の中に入れてもらっています。藤森君も明大出身であり、嬉しいかぎりです。



朝の挨拶運動

「学校経営を通して特色ある教育を推進する」

子どもにとつての最大の教育環境は、教師自身の人格とその努力である。私の教育信条です。この信条のもとに学校経営を行っています。今年度は次の5点を重点項目にしています。

1 学力の向上を図る
〈校内研修委員会が推進〉

東京都理教フロンティア校及び市の学力向上研究推進校として、小中連携して昨年度から取り組んでいます。授業の初めに5教科の全授業で必ず既習事項の確認小テストを行うようにしました。同じ問題を4回繰り返します。また、討論を取り入れた理科授業も展開しています。